

カーボンニュートラル通信(6月号) 6月は環境月間 デコ活とは

6月5日は、国連が定めた「世界環境デー」であり、日本では「環境の日」とされています。これにちなみ、6月は「環境月間」として、全国でさまざまな取り組みが行われています。

環境省では、カーボンニュートラルな社会の実現を目指して「デコ活(脱炭素につながる新しい豊かな暮らし)」を全国的な運動として広めています。すでに多くの自治体や企業が「デコ活宣言」を行い、積極的に活動を始めています。

皆さんも「デコ活アクション・まずはここから」の4つの行動から始めてみませんか。ちょっとした意識と行動の変化が、地球の未来につながります。



《お問い合わせ先》

高山村カーボンニュートラル推進協議会
(事務局：地域振興課)
☎0279-63-2111(内線21)

まずはここから始める4つの取組

デコ活アクション まずはここから

- デ 電気も省エネ 断熱住宅
- コ こだわる楽しさ エコグッズ
- カ 感謝の心 食べ残しゼロ
- ツ つながるオフィス テレワーク

出典：環境省



どうしよう?

相談しよう!

商品のこと、サービスのこと。困ったら。

消費生活センター

までお気軽にご相談ください 消費生活ホットライン **188**

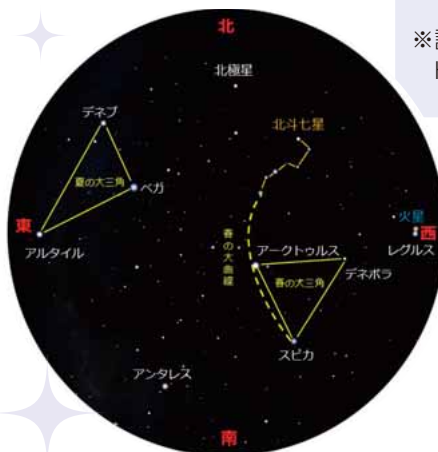
 消費者庁

6月の星空

○星図の説明

6月15日午後9時の高山村の星空。

月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも同じ星空になります。(「月」を除く)



7日 月デジ・望遠鏡操作体験イベント

*自分で小型望遠鏡を操作して月を観てみませんか。望遠鏡を操作してみたい方は、ぜひご参加ください。

★毎週水曜 『ほしぞら21時』
YouTube生配信

※詳細は、ぐんま天文台HPをご覧ください。





さとのわ通信

Vol.3

さとのわラウンジ

だんだん広場

■ラウンジとだんだん広場エリアの活用方法

ダンスや音楽、ゲームや映画、ヨガや販売会など、さまざまなジャンルのイベントを開催しています。世代を問わず楽しめる企画を通じて、村内外の方々がゆるやかに繋がる場になればと願っています。

会場の利用はどなたでも可能です。

「こんなイベントを開催してみたい」「こんなこと、できないかな？」というアイデアやご相談も大歓迎です。まずは、お気軽にスタッフまでお声かけください。



▲大正琴体験会



▲マルシェ



▲上毛かるた「さとのわ杯」



▲さとのわゲーム大会

さとのわカフェ

■高山村の季節の素材をいかしたメニューには、村内の農家さんが心を込めてつくった農産物を使用しています

カブの丸ごとジェノベーゼのピザ

甘みたっぷりのカブを焼き上げ、香り高い自家製ジェノベーゼソースをあわせた、みずみずしい食感とバジルの爽やかさが絶妙な一品となりました。

葉山椒ミルク

昨年、登場するやいなや人気となった葉山椒ミルクは、山椒のピリッとした大人の味わいで、驚くほど癖になります。

▼葉山椒ミルク



▲カブの丸ごとジェノベーゼのピザ

さとのわフードファクトリー

■村の食材を活用した新商品の開発に挑戦

ギフトボックス

アレルギーフリーの材料による焼き菓子の試作を重ね、完成した「米粉を使用した“SATONOWAクッキー”」と「ブルーベリーソース」のセット商品です。高山村の農産物のPRに繋がればと思っています。

枝豆味噌

高山村の枝豆と、村内外から人気の「ひまわり味噌」を合わせた調味料です。枝豆の香りと少しピリッと感じる香辛料が食欲をそそる1品となりました。



▲さとのわの人気商品であるブルーベリーソースとクッキーをセットにしたギフトボックス



▲枝豆味噌

《お問い合わせ先》 たかやま未来センターさとのわ ☎0279-25-8833



● 高山村ガイドボランティアの会との共同企画を実施しました

当村へ移住された方や移住希望者を対象に「十二ヶ岳カタクリ登山ツアー」を実施し、子どもから大人まで、村内外から計10名の方が参加されました。

移住体験の滞在中に参加されたご夫婦は「人との関わりが温かく、豊かな時間でした」と笑顔で語ってくださいました。

参加者間の親睦を深めるだけでなく、ガイドボランティアの方々から、村の魅力や暮らしのヒント、村周辺のおすすめスポットなど貴重な情報をお伝えいただき、大変有意義なツアーとなりました。



お世話になりましたー

高山村地域おこし協力隊 田村 一樹

この度、5月末で協力隊の任期を終えることになりました。

本来ならば8月末までの予定でしたが、中途半端な時期であるために、退任後にやらなければならない事も多く、今後、自分のやっていく事と状況を鑑みた結果、早めの退任という結論に至りました。

これまでは、農林課付の地域おこし協力隊として農業研修を中心に行ってまいりました。いろいろと農業のいろはを教えていただき、お世話になった農家さんには大変感謝しております。

当初より稲作をしたいと考えておりましたが、残念ながら高山村で条件に合う田圃を借りることが難しく、他地域で借りる事になりました。

しかし、他の栽培は高山村でも行います。また、高山村猟友会に所属し、有害鳥獣駆除員としても活動しておりました。

退任後も引き続き駆除員として積極的に参加したいと考えています。

これからも理想の栽培を目指して研鑽を重ねる所存です。

短い間でしたがお世話になりました。

